

- 大矢雅彦・海津正倫・春山成子・平井幸弘(1984):網走川水害地形分類図。北海道開発局網走開発建設部。
- 佐々木 巽(1992):北海道の海岸地形の性状(I)-北海道東部海岸について。北海道ウォーターフロント研究, no.1, p.15-18。
- 佐藤博之・松田武雄・杉山友紀・須田芳朗(1970):20万分の1地質図「斜里」。地質調査所。
- 鈴木 守・国府谷盛明・藤原哲夫(1966):5万分の1地質図幅「雄武」。北海道立地下資源調査所, 25p。
- 太井子宏和(1974):北海道の海岸における漂砂の方向について。北海道大学地球物理学研究報告, vol.31, p.21-32。
- 高安三次・飛島貫治(1930):網走湖(昭和4年)調査。水産調査報告, no.22, p.1-61。
- 田中茂信・小荒井 衛・深沢 満(1993):地形図の比較による全国の海岸線変化。海岸工学論文集, no.40, p.416-420。
- 豊島吉則(1984):北海道北部の海岸平野の地形特性とその形成機構。大矢雅彦編, 寒冷地における平野の特性と形成機構に関する研究報告-オホーツク海沿岸を中心として-[昭和56~58年度文部省科学研究費総合研究(A)], p.33-49。

- 海津正倫(1983):常呂川下流低地の地形発達史。地理科学, vol.38, p.1-10。
- 渡辺 光(1938):北海道の沿岸地帯の地形に関する若干の考察(其1)-北見沿岸の対置海岸線-。地学雑誌, vol.51, p.175-180。
- 山口昇一(1970):20万分の1地質図「北見」。地質調査所。
- 山口昇一・佐藤博之・久保和也(1984):50万分の1地質図「網走」。地質調査所。
- 山本裕彦(1983):オホーツク海南西縁辺海域の地質構造と堆積機構。地質学雑誌, vol.89, p.15-29。

ISOBE Ichiyo, SATO Takumi, YOKOTA Setsuya and HASAKA Toshikazu (1999): Formation of lagoons along the Okhotsk Sea coast in the north-eastern part of Hokkaido.

<受付:1999年5月10日>

くらしと地質Q&A(2)

Q 家を建てようと思いますが、地盤が軟弱だと標準よりも基礎をきちんとしなければならぬので、コストが高くなると聞きました。土地を購入する際、地盤が軟弱かどうか事前に判断する方法があるでしょうか。



A 大規模な埋立や盛り土されたところであれば、地質図からおおよその検討はつきます。

5万分の1地質図で、購入を検討されている土地がどのような区分になっているか調べて下さい。

そこが「完新世の沖積層」となっていたら、軟弱である可能性が高いと言えます。「完新世」とは1万年前から現在までのこと、「沖積層」とは河川が運んできたものがたまった層のことです。まだ固まっていない土砂の層という感じですね。

その場合、近くにボーリング地点の印があるか調べます。もしあったら、地質図の解説書に「柱状図」という、深さ方向に地盤がどう変化しているかを書いた図があります。

その図にN値という数字が併記されています。この値が4未満だと、いわゆる軟弱な層と言えますので、基礎をしっかりとする必要があります。

このコーナーでは、読者の皆さんからの「生活に関連した地質についての疑問質問」をお待ちしています。事務局あてにお寄せください。